

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（設定日：2018年5月16日）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、世界各国の株式、債券および不動産投資信託（リート）等に分散投資します。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド（デキュムレーティング・クラス、円建て） 主に、日本国内の取引所に上場している投資信託証券（ETF） マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■世界各国の株式、債券および不動産投資信託（リート）等に分散投資します。 ■中長期的な目標リターンとして短期金利相当分＋年3％程度を目指して資産配分を行います。 ■投資対象とする外国投資信託の運用は、ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年6回（原則として毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が目標分配率（年6％（各決算時1％）相当）に基づき決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ライフ・ジャーニー (充実して楽しむコース) 【愛称：最高の人生の描き方】 【運用報告書(全体版)】

第14作成期（2024年9月18日から2025年3月17日まで）

第 39 期 / 第 40 期 / 第 41 期

第39期：決算日 2024年11月15日

第40期：決算日 2025年1月15日

第41期：決算日 2025年3月17日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、世界各国の株式、債券および不動産投資信託（リート）等に分散投資します。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近15期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率	投資信託証券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
27期（2022年11月15日）	9,293	93	△2.1	0.0	98.5	5,298
28期（2023年1月16日）	9,070	91	△1.4	0.0	98.2	5,236
29期（2023年3月15日）	8,865	89	△1.3	0.0	97.8	5,277
30期（2023年5月15日）	9,193	92	4.7	0.0	98.3	5,650
31期（2023年7月18日）	9,561	96	5.0	0.0	98.3	6,040
32期（2023年9月15日）	9,653	97	2.0	0.0	97.9	6,396
33期（2023年11月15日）	9,445	95	△1.2	0.0	98.4	6,437
34期（2024年1月15日）	9,771	98	4.5	0.0	98.8	6,785
35期（2024年3月15日）	10,040	101	3.8	0.0	98.7	7,495
36期（2024年5月15日）	10,285	103	3.5	0.0	98.5	7,982
37期（2024年7月16日）	10,676	107	4.8	0.0	98.9	8,696
38期（2024年9月17日）	9,920	100	△6.1	0.0	98.9	8,383
39期（2024年11月15日）	10,332	104	5.2	0.0	98.9	8,933
40期（2025年1月15日）	10,064	101	△1.6	0.0	98.4	9,026
41期（2025年3月17日）	9,778	98	△1.9	0.0	98.6	9,137

※基準価額の騰落率は分配金込み。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。
※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率
			騰 落 率		
第39期	(期 首) 2024年 9 月17日	円	%	%	%
	9 月末	9, 920	—	0. 0	98. 9
	10月末	10, 361	4. 4	0. 0	98. 8
	(期 末) 2024年11月15日	10, 424	5. 1	0. 0	98. 8
第40期	(期 首) 2024年11月15日	10, 436	5. 2	0. 0	98. 9
	11月末	10, 332	—	0. 0	98. 9
	12月末	10, 271	△0. 6	0. 0	99. 0
	(期 末) 2025年 1 月15日	10, 429	0. 9	0. 0	97. 4
第41期	(期 首) 2025年 1 月15日	10, 165	△1. 6	0. 0	98. 4
	1 月末	10, 064	—	0. 0	98. 4
	2 月末	10, 299	2. 3	0. 0	99. 1
	(期 末) 2025年 3 月17日	10, 167	1. 0	0. 0	98. 3
第42期	(期 首) 2025年 3 月17日	9, 876	△1. 9	0. 0	98. 6
	3 月末	9, 876	△1. 9	0. 0	98. 6
	4 月末	9, 876	△1. 9	0. 0	98. 6
	(期 末) 2025年 4 月1日	9, 876	△1. 9	0. 0	98. 6

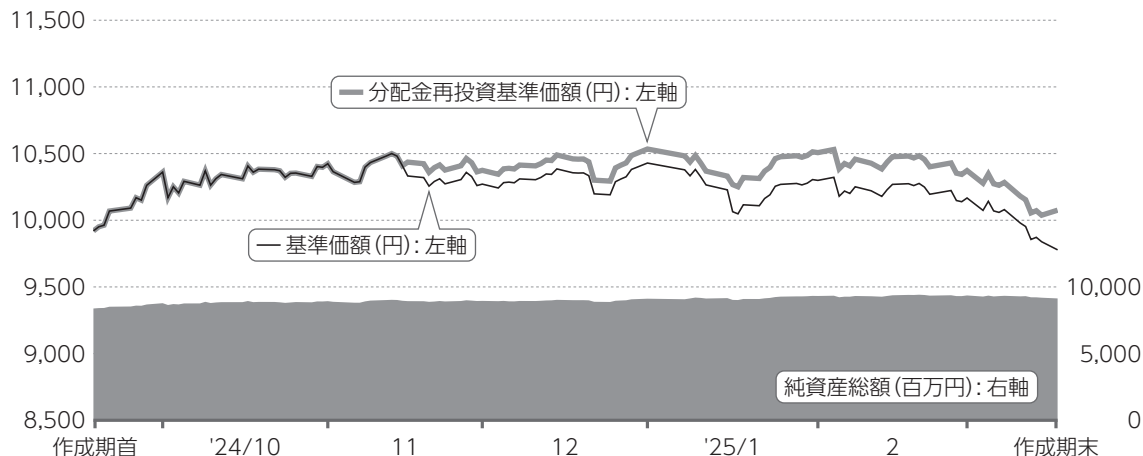
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年9月18日から2025年3月17日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	9,920円
作成期末	9,778円 (当作成期既払分配金303円(税引前))
騰落率	+1.6% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2024年9月18日から2025年3月17日まで)

当ファンドは、主としてE T F (上場投資信託) への投資を通じて世界各国の株式、債券およびリート(不動産投資信託)等に分散投資を行う外国投資信託証券*を主要投資対象としました。なお、世界の債券に投資するE T Fについては、為替ヘッジ付きのものを投資対象としています。
※外国投資信託証券の運用は、ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドが行います。

上昇要因

- 先進国の緩和的な金融政策動向を好感し、先進国株式、国内株式、新興国株式が上昇したこと

下落要因

- 先進国における物価上昇ペースの加速などから、米国国債の価格、投資適格社債の価格が下落したこと

投資環境について（2024年9月18日から2025年3月17日まで）

株式市場においては米国株式、英国株式、新興国株式、欧州株式（現地通貨ベース）や国内株式は前期末比で上昇しました。債券市場について、前期末比で利回りが上昇しました（価格は下落、現地通貨ベース）。投資適格社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は前期末比で縮小した一方、ハイイールド社債のスプレッドはほぼ横ばいとなりました。リート市場では、米国（現地通貨ベース）や国内リート共に前期末比で下落しました。為替市場では前期末対比で米ドル・円及びユーロ・円は共に上昇し、円安が進みました。

株式市場

期初、上昇基調が続いていた株式市場は、イスラエルを中心とする地政学リスクの高まりや米国大統領選に対する不透明感から、利益確定売りが散見されました。しかし、その後中東情勢の鎮静化、良好なマクロ経済統計や先進国の緩和的な金融政策動向等を受け、株価は上昇しました。

12月中旬以降、米国長期債金利の上昇を嫌気する形でまた弱含み推移した一方、2025年1月のトランプ大統領就任式で持ち直しました。その後、米国株式市場は期末へ向けてトランプ政権の関税政策への警戒感や経済統計の弱含みから景気減速懸念が嫌気され、もう一段軟調に推移しましたが、力強い上昇基調は維持されました。米国株式、英国株式、新興国株式（現地通貨ベース）、欧州株式（ユーロ・ストックス50指数、現地通貨ベース）や日本株式（TOPIX（東

証株価指数）は前期末比で上昇しました。

債券市場

米回国債市場は、前期末比で利回りが上昇しました。一時的に金利上昇トレンドが収束する動きがありましたが、12月中旬以降、再度金利上昇の動きが活発化し、金利は上昇、価格は下落しました。12月18日のFOMC（米連邦公開市場委員会）にて、FRB（米連邦準備制度理事会）の2025年以降の利下げ見通しが限定的な水準となったことが、金利上昇に影響を与えました。期末に向かって、地政学リスクや米国景気への懸念などから米国の金利は低下しました。

また、投資適格社債のスプレッドは前期末比で縮小した一方、ハイイールド社債のスプレッドはほぼ横ばいとなりました。

リート市場

欧米のリート市場では、先進国における債券金利の上昇を嫌気して、現地通貨ベースで下落しました。日本のリート市場も、日本銀行における追加利上げの観測などから下落しました。

為替市場

米ドル・円は、日米金利差や金融政策を巡る市場の観測を反映し、ボラティリティ

(変動性)の高い展開となりました。期初、欧米の長期金利上昇等に伴い、日本円は対米ドルおよび対ユーロで下落しました。しかし、1月に入り、日本銀行が市場想定を上回るペースでの引き締めを行うとの観測が広がり、円高となりましたが、期末に向い、利上げ観測の後退と共に円安基調が戻り、前期末対比で米ドル・円及びユーロ・円は共に上昇し、円安が進みました。

ポートフォリオについて(2024年9月18日から2025年3月17日まで)

当ファンド

「ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド(デキュムレーティング・クラス、円建て)」を高位に組み入れて運用を行いました。

ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド(デキュムレーティング・クラス、円建て)

●資産配分

年率10%程度のリスク量を目標に、各国

の指数に連動する債券、株式といった伝統的4資産に加え、ハイイールド社債、新興国株式、内外リートを加え、為替リスクも考慮したうえでポートフォリオ全体のリスク分散を図り、長期に安定したパフォーマンスを提供することを目標として組入れを行いました。組み入れたETFは、いずれも各資産クラスを代表する指数に概ね連動するもので、グローバルな市場に分散して投資を行うという、当ファンドの目的に適しています。また、各資産への配分比率は、短期的な市場変動の際にも一定の対応力があると思われる比率を勘案したうえで決定しています。

各国の景気や政局に注視しながらも、企業業績および経済指標における底堅いファ

ンダメンタルズ(基礎的条件)等を勘案した運用を維持しました。

投資行動としましては、2月末、株式全体の構成比率は同水準としつつ、先進国株式(除く日本)のウェイトを引き下げ、新興国株式及び日本株式を引き上げました。債券ポートフォリオでは、米国国債や投資適格社債を引き下げ、非保有としていたハイ

ールド債券を買い戻しました。

マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2024年9月18日から2025年3月17日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2024年9月18日から2025年3月17日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、目標分配率(年6%、各決算時1%)に基づき、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項 目	第39期	第40期	第41期
当期分配金	104	101	98
(対基準価額比率)	(1.00%)	(0.99%)	(0.99%)
当期の収益	104	101	98
当期の収益以外	－	－	－
翌期繰越分配対象額	1,703	1,717	1,734

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスド・ストラテジック・アロケーション・ファンド(デキュムレーティング・クラス、円建て)」の投資比率を高位に保ちます。

ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスド・ストラテジック・アロケーション・ファンド(デキュムレーティング・クラス、円建て)

今後、トランプ政権の政策や地政学リスクの状況次第では、短期的には市場のボラティリティの高い展開が継続しやすいとみています。しかし、底堅い経済指標や良好な企業決算などは、リスク性資産を下支えすると考えます。新興国については、市場のリスク許容度が回復する局面では底堅く推移する一方、中国の景気見通しに対する不透明感などが重石となる可能性があります。

債券市場については、主要中央銀行が金融緩和政策へと転換し、金利上昇圧力が弱まったと考えるものの、慎重に金利リスクの調整を行う方針です。社債市場は、ファンダメンタルズは相対的に安定推移すると

みられますが、リスクオフ(リスク回避)局面においてはハイイールド債券などのリスク資産が売られやすいため、動向を注視していきます。

当面は、株式を相対的に高位に保有する一方で、債券の保有は抑制気味とする方針です。ポートフォリオでは、実体経済動向や金融政策動向、各資産のバリュエーション(投資価値評価)等に留意しつつ、中長期的な目標リターン の獲得にむけて慎重なリスク量の管理を行いながらリバランス(資産配分比率の調整)を実施していく方針です。

マネー・トラスト・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

1万口当たりの費用明細(2024年9月18日から2025年3月17日まで)

項 目	金額	比率	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	58円	0.561%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は10,255円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.163)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.382)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(－)	(－)	
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(－)	(－)	
(公 社 債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(－)	(－)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(－)	(－)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	58	0.564	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

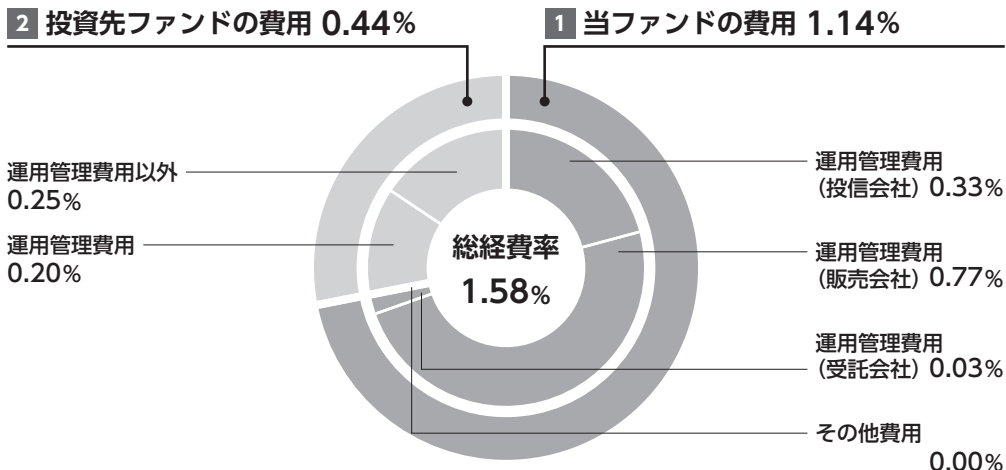
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率 (1 + 2)		1.58%
1	当ファンドの費用の比率	1.14%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.20%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.25%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区分しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。なお、運用管理費用以外の費用には、投資先ファンドが投資している上場投資信託(E T F)の管理費用等を含みます。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.58%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2024年9月18日から2025年3月17日まで）

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド（デキュムレーティング・クラス、円建て）	118, 863	1, 134, 773	23, 539	226, 000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等（2024年9月18日から2025年3月17日まで）

利害関係人との取引状況

ライフ・ジャーニー（充実して楽しむコース）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

マネー・トラスト・マザーファンド

区 分	当 作 成 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	D C
公 社 債	百万円 3, 744	百万円 2	% 0. 1	百万円 409	百万円 309	% 75. 6

※平均保有割合 0. 1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、S M B C 日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
（2024年9月18日から2025年3月17日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2025年3月17日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	作 成 期 首	作 成 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド（デキュムレーティング・クラス、円建て）	891, 868. 7512	987, 192. 9761	9, 006, 159	98. 6
合 計	891, 868. 7512	987, 192. 9761	9, 006, 159	98. 6

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種 類	作 成 期 首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・トラスト・マザーファンド	千口 721	千口 721	千円 717

※マネー・トラスト・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は1,192,695,183口です。

■ 投資信託財産の構成

(2025年3月17日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	9,006,159	97.0
マネー・トラスト・マザーファンド	717	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	279,200	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	9,286,077	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年11月15日)

(2025年1月15日)

(2025年3月17日)

項 目	第 39 期 末	第 40 期 末	第 41 期 末
(A) 資 産	9,130,022,199円	9,138,550,946円	9,286,077,382円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	290,118,385	255,616,402	279,200,288
投資信託受益証券(評価額)	8,839,186,627	8,882,217,285	9,006,159,546
マネー・トラスト・マザーファンド(評価額)	717,187	717,259	717,548
(B) 負 債	196,080,769	111,579,291	148,290,735
未 払 金	89,200,000	—	—
未 払 収 益 分 配 金	89,929,094	90,590,620	91,587,800
未 払 解 約 金	778,578	3,864,928	39,048,459
未 払 信 託 報 酬	16,102,775	17,049,287	17,577,711
そ の 他 未 払 費 用	70,322	74,456	76,765
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	8,933,941,430	9,026,971,655	9,137,786,647
元 本	8,647,028,317	8,969,368,360	9,345,693,932
次 期 繰 越 損 益 金	286,913,113	57,603,295	△ 207,907,285
(D) 受 益 権 総 口 数	8,647,028,317口	8,969,368,360口	9,345,693,932口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,332円	10,064円	9,778円

※当作成期における作成期首元本額8,450,688,873円、作成期中追加設定元本額1,244,067,331円、作成期中一部解約元本額349,062,272円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

	〔 自2024年9月18日 至2024年11月15日 〕	〔 自2024年11月16日 至2025年1月15日 〕	〔 自2025年1月16日 至2025年3月17日 〕
項 目	第 39 期	第 40 期	第 41 期
(A) 配 当 等 収 益	116,681,489円	117,103,222円	123,107,793円
受 取 配 当 金	116,635,760	117,043,220	122,997,721
受 取 利 息	45,729	60,002	110,072
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	332,699,328	△248,861,227	△285,518,202
売 買 損 益	337,747,417	766,378	1,296,080
売 買 損 益	△ 5,048,089	△249,627,605	△286,814,282
(C) 信 託 報 酬 等	△ 16,173,097	△ 17,123,743	△ 17,654,476
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	433,207,720	△148,881,748	△180,064,885
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	37,862,375	375,948,994	134,823,603
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 94,227,888	△ 78,873,331	△ 71,078,203
(配 当 等 相 当 額)	(785,972,947)	(852,914,995)	(927,940,796)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△880,200,835)	(△931,788,326)	(△999,018,999)
(G) 合 計(D+E+F)	376,842,207	148,193,915	△116,319,485
(H) 収 益 分 配 金	△ 89,929,094	△ 90,590,620	△ 91,587,800
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	286,913,113	57,603,295	△207,907,285
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 94,227,888	△ 78,873,331	△ 71,078,203
(配 当 等 相 当 額)	(785,972,947)	(852,914,995)	(927,940,797)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△880,200,835)	(△931,788,326)	(△999,019,000)
分 配 準 備 積 立 金	687,418,417	687,443,089	692,982,412
繰 越 損 益 金	△306,277,416	△550,966,463	△829,811,494

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。
※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 39 期	第 40 期	第 41 期
(a) 経費控除後の配当等収益	112,483,077円	99,979,491円	105,453,538円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	785,972,947	852,914,995	927,940,797
(d) 分配準備積立金	664,864,434	678,054,218	679,116,674
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,563,320,458	1,630,948,704	1,712,511,009
1万口当たり当期分配対象額	1,807.93	1,818.35	1,832.41
(f) 分配金	89,929,094	90,590,620	91,587,800
1万口当たり分配金	104	101	98

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第39期	第40期	第41期
	104円	101円	98円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド（デキュムレーティング・クラス、円建て）
形態	ケイマン籍契約型投資信託（円建て）
主要投資対象	主に、日本国内の取引所に上場している投資信託証券（E T F）
運用の基本方針	・主にブラックロック・グループが運用するE T Fであるiシェアーズを通じて様々な資産への投資を行い、値上がり益および利子・配当等収益からなるトータルリターンの獲得を目指します。 ・ファンドの想定リスクが大きくなる場合は、資産配分を見直し、現金等の保有比率を高める場合があります。
主な投資制限	・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資比率は、純資産総額の15%以下とします。 ・同一発行体に対する投資比率は、純資産総額の10%以下とします。 なお、ファンドがE T Fを保有している場合は、当該E T Fが保有する有価証券によって投資割合を測定します。
分配方針	偶数月（2月、4月、6月、8月、10月および12月）の最終営業日に分配を行う方針です。
運用管理報酬	純資産総額に対して 運用報酬：年0.15%程度 （副投資顧問会社に対する報酬は、投資顧問会社の運用報酬より支払われます。） 受託会社報酬：年間10,000米ドル 管理費用：最大年0.04%程度（最低年40,000米ドル） 名義書換代行費用：年0.01%程度 ※別途、当ファンドが投資するE T Fにおいても運用管理費用がかかります。 ※上記のほか、保管費用がかかりますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。 また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッド
副投資顧問会社	ブラックロック・ジャパン株式会社
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド（デキュムレーティング・クラス、円建て）」をシェアクラスとして含む「ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益計算書（2023年12月29日で終了する期間）

（単位：円）

投資収益：

受取配当金（源泉税控除後：94,072,489円）

759,495,951

収益合計

759,495,951

費用：

投資運用報酬

57,515,703

管理事務代行及びファンド会計報酬

15,337,529

保管報酬

8,632,984

監査報酬

4,589,575

証券代行業報酬

4,011,867

トラスティ報酬

1,470,592

支払利息

862,396

弁護士費用

225,901

その他報酬

257,171

費用合計

92,903,718

投資純損益

666,592,233

実現損益と未実現損益

実現純損益

投資有価証券

49,478,148

実現純損益

49,478,148

未実現損益の変動額

投資有価証券

5,083,536,555

外国為替取引及び外国為替先渡契約

20,487

未実現損益の純変動額

5,083,557,042

実現純損益および未実現純損益

5,133,035,190

運用による純資産の純増減額

5,799,627,423

■ 投資明細表（2023年12月29日現在）

株数	銘柄	純資産 比率 (%)	公正価値 (単位：円)
	上場投資信託（99.8%）		
	日本（99.8%）		
1,126,266	iShares Core Japan REIT ETF	4.8	2,104,991,154
2,020,611	iShares Core MSCI Emerging Markets IMI ETF	11.1	4,924,229,007
3,257,880	iShares Core MSCI Kokusai ETF	30.8	13,617,938,400
3,246,764	iShares Core TOPIX ETF	17.9	7,944,831,508
2,397,148	iShares Core U.S. Treasury Bond	9.8	4,355,617,916
450,911	iShares MSCI Japan Minimum Volatility ex-REITs ETF	2.3	1,031,684,368
785,823	iShares U.S. REIT ETF	5.2	2,289,102,399
654,845	iShares USD High Yield Corporate Bond JPY Hedged ETF	2.9	1,265,815,385
3,393,569	iShares USD Investment Grade Corporate Bond JPY Hedged ETF	15.0	6,627,640,257
	日本合計（取得原価 37,671,643,299円）		44,161,850,394
	上場投資信託（取得原価 37,671,643,299円）		44,161,850,394
	投資合計（取得原価 37,671,643,299円）	99.8	109,538,292
	負債を上回る現金およびその他資産	0.2	109,538,292
	純資産	100.0	44,271,388,686

マネー・トラスト・マザーファンド

第9期（2023年10月13日から2024年10月15日まで）

信託期間	無期限（設定日：2016年1月29日）
運用方針	■主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		公 社 債 入 比	純 資 産 額
		騰 落	率		
	円		%	%	百万円
5期（2020年10月12日）	9,970	△0.1		74.8	12
6期（2021年10月12日）	9,962	△0.1		70.1	15
7期（2022年10月12日）	9,958	△0.0		73.8	15
8期（2023年10月12日）	9,952	△0.1		75.0	15
9期（2024年10月15日）	9,949	△0.0		99.7	1,316

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

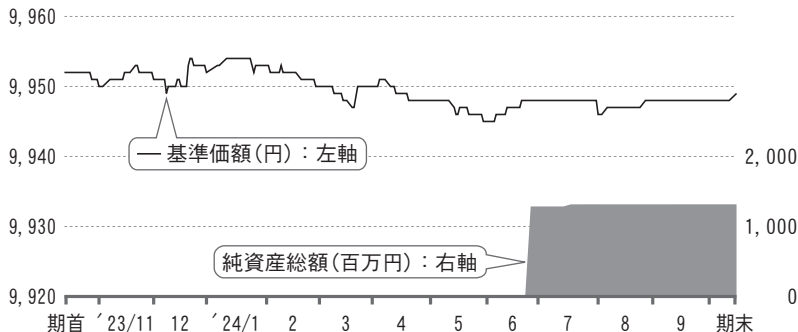
年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 入 比	債 率
		騰 落	率		
(期 首) 2023年10月12日	円		%		%
	9,952		—		75.0
10月末	9,950		△0.0		74.9
11月末	9,951		△0.0		74.9
12月末	9,952		0.0		75.0
2024年1月末	9,953		0.0		74.9
2月末	9,950		△0.0		74.9
3月末	9,950		△0.0		74.9
4月末	9,948		△0.0		74.8
5月末	9,945		△0.1		74.8
6月末	9,948		△0.0		99.7
7月末	9,946		△0.1		99.7
8月末	9,948		△0.0		99.7
9月末	9,948		△0.0		99.7
(期 末) 2024年10月15日	9,949		△0.0		99.7

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2023年10月13日から2024年10月15日まで）

基準価額等の推移



期 首	9,952円
期 末	9,949円
騰 落 率	-0.0%

▶ 基準価額の主な変動要因（2023年10月13日から2024年10月15日まで）

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

上昇要因

- ・日銀が2024年3月にマイナス金利政策を解除し、7月に追加利上げを行ったことを受け、短期公社債や短期金融商品の利回りが上昇したこと

下落要因

- ・3月中旬まで日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期公社債や短期金融商品のマイナス利回りの影響が残ったこと

▶ 投資環境について（2023年10月13日から2024年10月15日まで）

短期金利は、上昇しました。

円安進行などの影響から物価上昇率が高止まりし、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は前年比+2%以上での推移となりました。日銀は物価目標の実現が見通せる状況に至ったと判断し、2024年3月に開催された金融政策決定会合で、日銀当座預金付利金利を0.1%に引き上げることで無担保コール（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利を0～0.1%程度で推移するよう促すことを決定しました。さらに、7月の金融政策決定会合で追加利上げを決

定し、無担保コール翌日物金利の誘導目標を0.25％程度としました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から2024年1月中旬までは概ねレンジ推移となりました。1月に行われた金融政策決定会合後の植田日銀総裁の会見が、政策変更が近づいていることを意識させるタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な内容だったことから、利回りは上昇基調となりました。3月に、日銀がマイナス金利政策を解除したことから、利回りはプラス圏へ上昇し、7月の追加利上げ後にはさらに上昇しました。しかし、日銀の資金供給オペの担保として国庫短期証券へのニーズが強まる一方、発行額が段階的に減額されたことから、期末にかけて利回りの上昇幅は縮小しました。

▶ ポートフォリオについて（2023年10月13日から2024年10月15日まで）

残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について（2023年10月13日から2024年10月15日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

国内景気は、賃金上昇や経済対策の下で消費が回復しており、堅調な設備投資意欲や海外経済の底堅さも背景に、緩やかな成長軌道が続く見通しです。CPIコアの前年比伸び率は、賃金上昇に伴うサービス物価上昇により+2％程度の伸び率を維持できる見通しです。物価安定の目標達成が視野に入的过程中で日銀が追加利上げ姿勢を維持していることは金利の上昇要因ですが、短期市場での強い資金運用ニーズが金利上昇を抑制する見込みです。

引き続き、残存0年から1年3ヵ月までの円建ての公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持し、利子等の安定した収益の確保を目指して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細（2023年10月13日から2024年10月15日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000％ (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	0	0.000	

期中の平均基準価額は9,949円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2023年10月13日から2024年10月15日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	2,611,872	(1,306,000)
	特殊債証券	—	(5,900)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年10月13日から2024年10月15日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。
※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2023年10月13日から2024年10月15日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2024年10月15日現在)

公社債

A 債券種類別開示
国内(邦貨建)公社債

区分	期			末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBBB格以下 組入比率	残存期間別	組入比率	
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	1,312,000 (1,309,000)	1,311,919 (1,308,918)	99.7 (99.4)	— (—)	— (—)	— (—)	99.7 (99.4)
合計	1,312,000 (1,309,000)	1,311,919 (1,308,918)	99.7 (99.4)	— (—)	— (—)	— (—)	99.7 (99.4)

※()内は非上場債で内書きです。
※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示
国内(邦貨建)公社債

種類	銘柄	期		末	
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1247国庫短期証券	—	1,300,000	1,299,928	2024/11/05
	337 10年国債	0.3000	3,000	3,001	2024/12/20
	1226国庫短期証券	—	3,000	2,998	2025/04/21
	144 5年国債	0.1000	3,000	2,998	2025/06/20
	1257国庫短期証券	—	3,000	2,993	2025/09/22
小計	計	—	1,312,000	1,311,919	—
合計	計	—	1,312,000	1,311,919	—

■ 投資信託財産の構成

(2024年10月15日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	1,311,919千円	99.7%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,564	0.3
投 資 信 託 財 産 総 額	1,316,483	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年10月15日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,316,483,808円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,560,734
公 社 債(評価額)	1,311,919,329
未 収 利 息	3,688
前 払 費 用	57
(B) 純 資 産 総 額(A)	1,316,483,808
元 本	1,323,298,164
次 期 繰 越 損 益 金	△ 6,814,356
(C) 受 益 権 総 口 数	1,323,298,164口
1万口当たり基準価額(B/C)	9,949円

※当期における期首元本額16,009,841円、期中追加設定元本額1,307,408,528円、期中一部解約元本額120,205円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

ライフ・ジャーニー(かしこく育てるコース)	2,543,560円
ライフ・ジャーニー(かしこく使うコース)	2,453,434円
ライフ・ジャーニー(充実して楽しむコース)	721,009円
人生100年時代・世界分散ファンド(資産成長型)	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド(3%目標受取型)	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド(6%目標受取型)	100,141円
MF S・グローバル株式ファンド	100,181円
テトラ・エクイティ	1,503,157円
ボンド・ゼロトリプル(予想分配金提示型)	300,632円
ボンド・ゼロトリプル(資産成長型)	300,632円
テトラ・ネクスト	3,712,251円
MF S米国中型成長株式ファンド(為替ヘッジあり)	1,003,311円
MF S米国中型成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	1,003,311円
PIMCOグローバル・ターゲット戦略債券ファンド2021-06(限定追加型)	903,343円
バロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド(資産成長型)	20,087円
バロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド(予想分配金提示型)	20,087円
クライメート・ソリューション・ファンド	1,004,218円
CLOインカムファンド(為替ヘッジなし)	562,928円
CLOインカムファンド(為替ヘッジあり)	50,262円
トータルヘッジ用ファンドSMB 1号<適格機関投資家限定>	341,777,243円
トータルヘッジ用ファンドSMB 2号<適格機関投資家限定>	965,018,095円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2023年10月13日 至2024年10月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	149,769円
受 取 利 息	149,909
支 払 利 息	△ 140
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 88,957
売 買 益	36,589
売 買 損	△ 125,546
(C) そ の 他 費 用 等	△ 1,002
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	59,810
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 76,265
(F) 解 約 差 損 益 金	627
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△6,798,528
(H) 合 計(D+E+F+G)	△6,814,356
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△6,814,356

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

- ・デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、信託約款に所要の変更を行いました。

(適用日：2023年10月13日)